

ゴミ分別で火災予防！

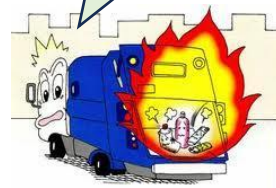
近年、全国的にゴミ収集車に収集されたゴミが突然燃え出す火災が増えており、石巻地区でも年に数件発生しています。

原因は、正しく分別されずに捨てられた「火災発生の危険性があるゴミ」です。

ゴミ収集車の火災は、収集車・ごみ処理施設のほか、発生場所周辺の家に被害を及ぼし、人の命にかかわる大きな火災となる危険が潜んでいます。

集積所や処分場でも同様の火災が発生しています。地域のルールに従い、**きちんと分別して適正に処理をすれば防ぐことができる**火災です。

分別していますか？！



「火災発生の危険性があるゴミ」って？！

- ・ライター、消していないたばこの吸い殻
- ・スプレー缶、カセットコンロのガスボンベ
- ・リチウム蓄電池、充電式電池(モバイルバッテリー)



…など、主な出火原因となっているゴミのことです。

これらは、「有害ごみ」、「燃やせないごみ」といった**地域ごとの分別ルール**があります。特に“**リチウムイオン電池**”は、電池の端子部分にビニールテープ等を貼って絶縁し、出火させない措置が必要です。

↓↓ お住まいの地域での分別ルールを確認しましょう ↓↓ は各ウェブサイト掲載名

石巻市 市民生活部 廃棄物対策課 0225-95-1111

「**ごみ・リサイクル**」

(→「ごみの分別・出し方、粗大ごみの出し方」へ)

- ・スプレー缶、カセットボンベ → 「あきびん」の日に専用の黄色コンテナへ出す
- ・ライター → 「有害ごみ」 **「スプレー缶、カセットボンベ、ガスライターの出し方について」**
- ・リチウムイオン電池 → 「回収拠点への持ち込み」



令和8年4月から市役所などの公共施設に「充電式電池回収ボックス」を設置し、拠点回収を行っています。 **「リチウムイオン電池の分別回収」**

[石巻市ごみカレンダー](#) (お住まいの地区をご確認下さい)

東松島市 市民生活課 環境衛生係 0225-82-1111

「**ごみの出し方**」

- ・スプレー缶、カセットボンベ、ライター → **「資源ごみ(不燃ごみ)【スプレー缶】」**
- ・リチウムイオン電池 → 「有害ごみ」



令和7年7月から、リチウムイオン電池等の回収を開始しています。

[東松島市 家庭ごみの出し方について \(PDF\)](#)

女川町 町民生活課 環境係 0225-54-3131

「**環境・ごみ**」

- ・スプレー缶、カセットボンベ → 「缶類」、ライター → 「不燃ごみ」
- ・リチウムイオン電池 → 「資源ごみ」の日に袋に入れて茶色のかごへ出す

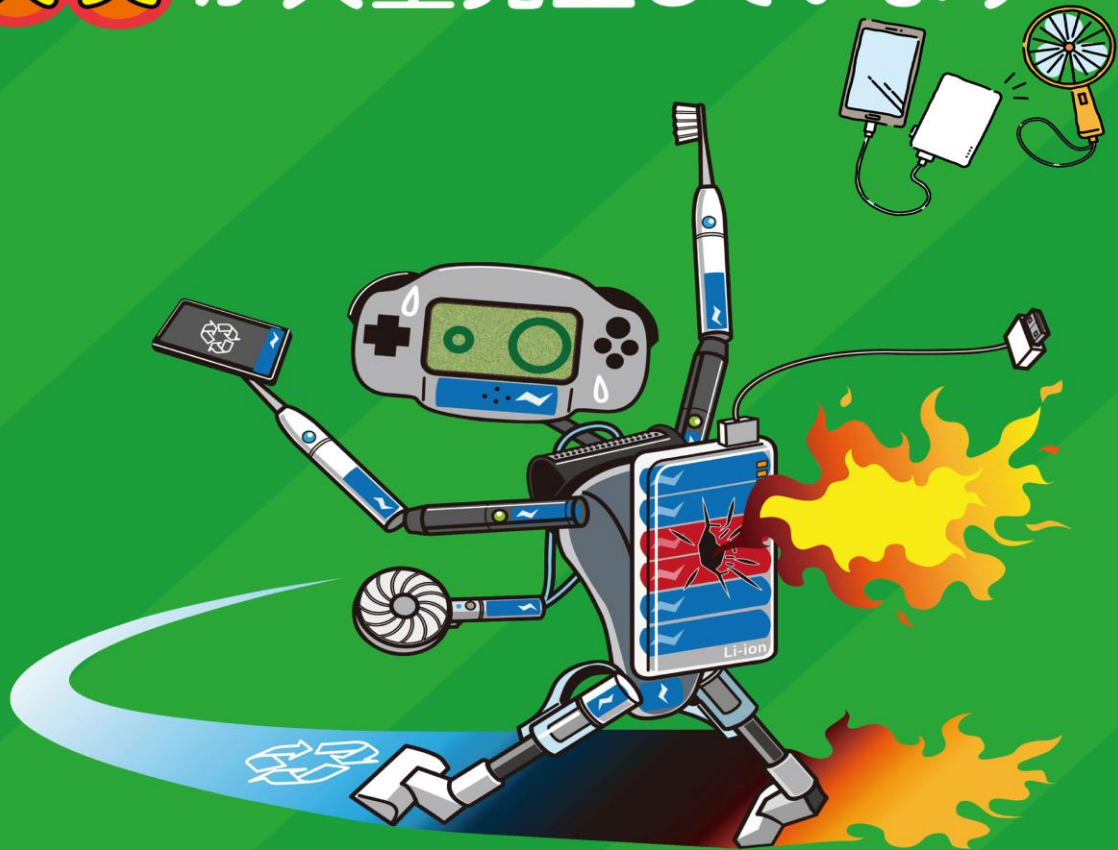


[女川町 家庭ごみの出し方・分け方一覧表 \(PDF\)](#)

リチウム蓄電池^{*}が原因で

※リチウムイオン電池
と同義

ごみ収集車やごみ処理施設で 火災が大量発生しています



「便利でケケンな LIBOT (リボット)」 アートファクトリー株式会社
2023年度環境省主催「防ごう！火災！」リチウム蓄電池等に起因する
発火事故防止のためのデザイン・イラストコンクール (LIBコン1) 優秀作品

捨て方が分からない…



燃やせるゴミに出したけど、良かったのかな…？

出典：環境省

モバイルバッテリーをはじめ、加熱式たばこ本体、ハンディファン、電動工具、おもちゃ…など、充電して繰り返し使えるリチウムイオン電池は、長寿命・小型・軽量・大容量という特徴から幅広い製品に活用され、鉛蓄電池に変わり二次電池の主流となりました。

一方、強い衝撃を与えた場合などは、発火の原因となってしまいます。リチウムイオン電池に使用される電解液は引火性のある有機溶媒であり、衝撃や損傷によって電極物質同士が触れ合うと化学反応が起きて熱が発生し、電解液に引火することで**発火する危険**が高くなります。

特に廃棄時は発火の危険が多く潜んでおり、ゴミの分別ルールを守らず、リチウムイオン電池を含む製品を誤って廃棄した場合など、ごみ収集車や処理施設で発火や爆発が起こる事故が多発しています。

問い合わせ：石巻地区広域行政事務組合消防本部予防課 Tel 95-7167